10 会場案内

JR 松江駅から

◇6番乗り場で、一畑バス「51 恵曇」行に乗車

==>②「佐太神社前」バス停下車（30分）== 徒歩（1.4km 約 20 分） ==> 松江ろう学校着

◇タクシーで約20分

一畑電車 松江しんじ湖温泉駅から

◇一畑バス・松江市営バスで「県民会館前」経由便に乗車 ⇒

①「県民会館前」下車（5分）⇒一畑バス「51 恵曇」行に乗換

⇒以下上記

◇タクシーで約10分

11 研修講座の内容紹介

講座Ⅰ　13:30～14:50	
きこえない・きこえにくい人の心理について～擬似体験・当事者体験談～	難聴擬似体験では、きこえない環境下で、配慮や工夫が「ある」時と「ない」時の気持ちを体感します。体験談では当事者の学齢期の心の揺れ動きについて語ってもらいます。きこえない子どもたちの気持ちを一緒に想像してみましょう
幼稚部の取組	岡山聾学校幼稚部の言語指導について紹介させていただきます。在籍数が減少する中での取組、そして今までの継承されてきた取組などを中心にご紹介できたらと考えています。
小学生・中学生が自分の聞こえを学ぶ～思春期を乗り越えるために～	聞こえを「見える化」し、聞こえにくさを理解・受容することで前向きになれるよう小学生・中学生を支援します。講師の工夫を紹介しますので、試してみましょう。
クイズで学ぶ聴覚障害教育のあれこれ（その2）	昨年に引き続き、聴覚障害教育の知識や小ネタをクイズ形式で楽しんでいただく講座です。簡単なものから超難問まで、いろいろな分野のクイズを用意して、みなさんの参加をお待ちしています。さて、何問正解できるでしょうか？
講座Ⅱ　15:10～16:30	
中学部の取組	『発音発語の学習』、『重複障害児の将来を見据えた支援』 をテーマに2つの実践例をご紹介します。また、皆さんと様々な情報交換ができればと思います。よりよい支援について、ぜひ一緒に考えていきましょう。
幼稚部から小学部へのわたりの指導	乳幼児期はコミュニケーションによる人間関係を土台にしてやりとりを築いていきます。その中で、きこえない子どもにとって確かな視覚情報となる読み書きの力に早期から取り組み、学童期に向け日本語の習得に繋げていくようなわたりを考えていきたいと思います。
デフ・フッドの視点での授業づくり（自立活動）	セルフアドボカシースキルを高めるには、自己理解だけでなく、デフ・フッドの視点での授業づくりも欠かせません。デフ・フッドの定義やデフ・フッドの視点を導入した授業事例を学び、中高校生を対象とした自立活動の授業力を高めます。
補聴器調整の基礎と特性表の読み方	本講座では補聴器調整の考え方の基礎を学びます。 補聴器の調整はどのように行っているのかを特性表の読み方と合わせて学びましょう。

12 問い合わせ　*お問い合わせは電話またはメールでお願いします。

〒690-0121 島根県松江市古志町191－6 島根県立松江ろう学校内
中国教育オーディオロジー研究協議会事務局　石橋 優子　宛て
電話 0852-36-7222　メール ishibashi-yuko@edu.pref.shimane.jp